

通勤途中の会津坂下町高寺というところの沿道に、「立葵（タチアオイ）」の花が綺麗に列を作って咲いています。会津若松市の市花にもなっているこの花は、別に「梅雨告げ花」「梅雨葵」とも呼ばれ、入梅の頃に枝の下の方から咲き始め、ほぼ垂直に伸びた先端まで花が開くと梅雨が明けると言われています。

新しい生活様式であっても、季節の移ろいを感じながら生活していきたいと思います。

全会津中体連総合大会中止・・・！

6月1日から部活動が、時間は通常より少し短いですが再開となり、本格的に熱が入ってきた矢先の12日（金）、全会津中体連総合大会中止の通知が入りました。このことについては既に皆様にもお知らせしたところではありますが、残念な決定となってしまいました。この大会を目標に頑張ってきた生徒、特に3年生のみんなにとっては、悔しい思いでいっぱいだったことと思います。3年間の部活動の集大成の場でもあったわけですから、その思いは一入（ひとしお）のことと思います。

けれど、今週の「朝の集い」でも生徒のみんなには話したことですが、今まで部活動に打ち込んできた日々は決して無駄になることはありません。必ずこれからの人生において役立つこととなります。部活動を通して学んだことや、身につけてきた体力や精神面の強さは、高校に行っても、将来大人になってからも、きっと支えとなって困難な状況にも打ち勝つことのできる力になっていきます。そして何より、仲間とともに切磋琢磨し、流した汗と涙は、他の何物にも代えがたい貴重な財産となります。一生忘れることのない美しい思い出となって、心に残っていきます。

ですから、生徒のみんなには、今大会が中止になったことで、決して落胆することなく、むしろ残念な思いや悔しさをバネとして、次の目標に向かって頑張っていってほしいと思います。コロナウィルスとの戦いは長い期間にわたるとも言われています。生徒の皆さんは、ひるむことなく、今できることに全力を尽くして、新たな一歩を踏み出しましょう。保護者の皆様にはそんな生徒達を温かく見守ると共に、励ましていただきたいと思います。

なお、今大会が中止になったことで、代替措置としての練習会や練習試合等が企画されている競技もあります。これらに関しては、新型コロナウイルス感染防止のための対策を講じた上での実施にはなるはずですが、あくまで本人と保護者の意思を尊重し、強制とはしませんので、参加についてはよくご相談の上、検討くださるようお願いいたします。

<昨年度新人大会のアルバムから>



図書先生を紹介します！

高郷中では学校司書として小澤志帆先生に、週1度、勤務してもらっています。実は本校に勤務する年数としては最も長い先生でもあります。日常的な図書室の管理と整備はもちろんですが、国語科担当の井上先生と相談しながら新刊図書の購入などにもあたってください。生徒達も朝の読書で読む本を選んでもらったり、おすすめの本を紹介してもらったりしているようです。

高郷中学校に勤務して、今年で5年目になります、学校司書の小澤志帆です。「学校司書」という言葉に耳慣れない方もいらっしゃると思います。学校司書とは、蔵書の管理や図書室内の環境整備、授業等への資料の提供などが主な仕事です。

高郷中学校の図書室は、読み物はもちろん、古生物や空想上の生き物を取り上げた本などちょっと変わった本も揃えています。本に触れる、文字に触れることは、想像力や読解力の向上にもつながります。また、前に読んだことがある本でも、年齢を重ねてから再度読んでみると、最初とは違う感想が持てたりと、本には人生を豊かにする力があります。

高郷の子ども達は、素直で明るく、そしてまじめな子ども達だと感じています。小学校、中学校そしてその先の人生で心の支えになるような、ときめく一冊と出会えることを願っています。また、心を落ち着けたい時、ちょっと1人になりたい時、「居場所」として図書室を使ってください。

<おすすめの一冊>

『車夫』・・・いとうみく／作（小峰書店）

- ある事情から高校を退学し、車夫（人力車の引き手）の世界に飛び込んだ少年と、周囲の人々を描いた連作短編集。温かさと爽やかさ、そしてほんの少しの切なさがある物語です。読むと人力車に乗ってみたいくなります。



避難訓練を実施しました！

先週の火曜日（9日）の6校時目に、避難訓練を実施しました。これは当初5/8に予定されていたものですが、臨時休業が延長となり、実施が延期されたことから、今回の実施となりました。

今回の避難の想定は調理室からの出火で西側階段を降りて校庭へ避難というものです。いつもなら消防署の方がその様子を見守り、ご指導いただくところですが、今回は、新型コロナウイルスへの対応もあり、校内のみでの実施としました。それでも生徒達は気を抜くことなく、真剣に取り組んでくれました。毎年のことではありますが避難訓練はいざという時に役立つ大事な行事ということ、子ども達もしっかり理解してくれています。



<とってもうれしかった話>

18日（木）の朝の登校時、いつものように塩坪橋の交差点に立っていると、いつものように小学生を乗せたスクールバスがやってきました。そしていつものように手を振って見送っていると、スケッチブックのようなものを開いて、こちらに向けようとする児童がいます。そのスケッチブックに書かれていたのは、・・・『ありがとう』の大きな5文字でした。

思わず涙がこぼれそうになりました。そして、心の中で言いました。「こちらの方こそ『ありがとう。』と。